



お問い合わせ  
保健福祉課 保健推進係 TEL 2・1212

## 知らないうちに 太つてた…？！

ぽこっと出でているお腹を見て、本当は痩せて健康でいたい、キレイに、カッコよくいたいと思っている人も多いのではないかでしょか。時間かけて徐々に脂肪がついていくため、知らないうちに：と思つてしまいますが、振り返ると思い当たることは出てくるものです。わかつても、なかなか痩せられないから：とつい目を背けがちですが、改めて「肥満」に目を向けてみましょう。

### 私は肥満？

肥満とは、体の中の脂肪組織（体脂肪）が過剰に蓄積した状態をいいます。目安となるのが、BMI（体格指数）と体脂肪率、お腹周り（腹囲）です。

上を肥満と判定しています。最近では体重計で体脂肪率が測定できるものも増えていますが、測定の仕方で数値が変動しやすいため、体重の変化とあわせてみることが大切です。

性が高いことがわかり、腹囲も肥満の判定として使われています。BMIが25未満でも腹囲が基準以上の場合は内臓型肥満の可能性が高いと考えられます。

#### ① BMI

世界でもっとも広く使われている肥満判定の物差しで、体重と身長から計算して判定します。

#### ③ 腹囲

ヘその位置で断層写真をとり（腹部CT検査）、内臓脂肪の面積が100平方センチを超えると内臓脂肪型肥満と診断されます。しかし、CT検査は簡単に行える検査ではありません。そのため、腹囲（へそ周り）を測り、男性で85センチ、女性で90センチを超えると内臓脂肪の面積が100平方センチを超えて内臓脂肪型肥満の可能

#### 【① BMI の算出式と見方】

BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)		
低体重 (やせ)	標準	過体重 (肥満)
18.5 未満	18.5 ~ 25 未満	25 以上

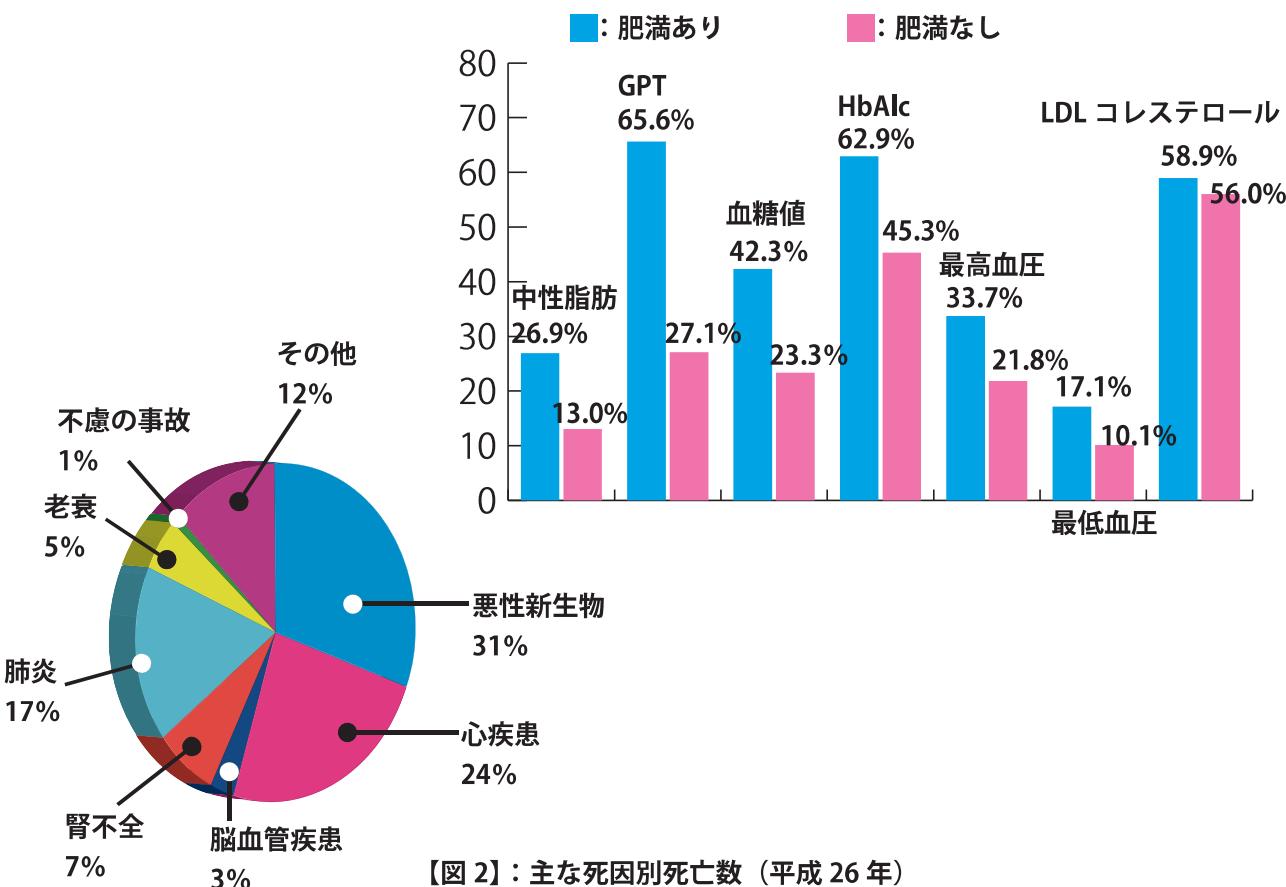
佐呂間町の平成26年度の健診受診者の状況をみても、肥満（腹囲：男性85センチ・女性90センチ以上）の有無で有所見（検査数値が正常範囲よりも高い方）の割合に差がみられています。（図1）

肥満に糖尿病、高血圧症、脂質異常症が併発した状態は「死の四重奏」と呼ばれ、これらの要因を持たない人に比べて心筋梗塞の発症が30倍以上に急上昇するという研究結果があります。佐呂間町の平成26年の主な死亡要因をみると（図2）心疾患の割合が高く、肥満の改善も課題のひとつです。

内臓脂肪が過剰に蓄積すると、脂肪からなる物質によって血圧や中性脂肪・コレステロール値を高くしたり、インスリンの働きが邪魔されて血糖が高くなったりして動脈硬化をすすめ、放っておくと心臓病や脳卒中など命に関わる重篤な病気につながります。

### 内臓脂肪が多いと注意!!

【図1】：有所見者の割合（肥満の有無別）



【図2】：主な死因別死亡数（平成26年）

**まずは、自分の生活の振り返り**

どうして太ってしまったのか？の答えはエネルギー収支にあり、食事からとった「摂取エネルギー」が日常生活で使われる「消費エネルギー」を上回ると、使われなかつ分のエネルギーが脂肪となつてたまります。肥満は生活習慣の積み重ねによつておこります。たとえば、毎日50キロカロリー余分に食べると、どうなると思いますか？5年間続けると、約90,000キロカロリー。人間の脂肪1キログラムは7,000キロカロリーに相当するため、体重に換算すると約13キログラムになります。（図3）

ほんのひと口と食べたものや近くに行くのにも車を使つてしまつとう、ちよつとした生活習慣が積み重なつて体重増加につながります。まずは、今の自分の体の状態を知り、生活を振り返ることが肥満改善の一歩となります。

佐呂間町では特定健診・健康診査を実施しています。健診の日程については、健康カレンダーや広報・回覧等で掲載されます。体の状態を確認し、生活を振り返る機会として、ぜひ健診を活用しましょう。

【図3】

一日あたり何キロカロリー余分にとつてきたか計算してみましょう

